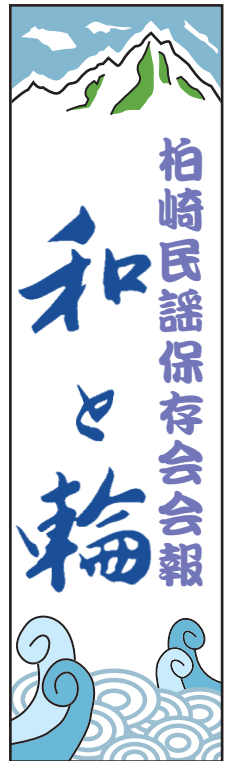


今日という日は二度と来ない
二度と来ない日が毎日来る
(星野富弘さんの詩画集から)



第28号発行
2026・1・25

発行責任者
間島 正明



念頭に思う

会長 赤川イシ子

熊被害に暮れた二〇二五年でした。どんな年になるでしょうか。今年は、ともあれ健康で元気に過ごしたいものです。誰もが望むことですが、一日一笑をモットーに明るいい日々が過ごせれば幸せというものでしょう。七五周年に向けて、頑張ります。老骨にムチ打って、力を合わせて、実のある記念公演になりますように。

今年の感謝

理事長 間島 正明

昨年の保存会は、今迄にない程の出演があり、忙しい一年でありました。その中でも特に高校生コンビ三味線の依頼でありました。それも柏崎日報社の昨年元旦号にて二人の記事があり、各位よりの反響があったものと思います。また、ぎおん柏崎まつりでは、笛の一般募集が増加、唄の募集があり、少しずつ反響が出てきたのかと思います。今年の十一月八日、アルフォーレ

納涼会に参加して

大橋 義則

八月九日(土)、アルフォーレにて午後七時より鏡町町内会の納涼会が行われました。

アトラクションとして出演致しました。準備中は、人は少なく心配もありましたが時間になるにつれ、次々と人が集まり満席になり、あまりにも大勢の方々に圧倒されました。

会長の挨拶では、今までは野外で納涼会を行っていましたが、暑さ続きで熱中症等が心配される為、室内での納涼会を計画したとの事でした。

民謡では柏崎、佐渡、出雲崎おけさ、津軽甚句、黒石よしやれ、じょんがら節等、披露致しました。短い時間の演奏でしたが大勢の方々の拍手を頂き、楽しい一時となりました。ありがとうございました。



阿弥陀様に合掌

坂井 文繪

十一月二日、西福寺での永代経法要での出演。寺では毎年いろんな催しをするらしい。

囃方は内陣で御本尊様を背に演奏。踊り子は奥行の狭い畳廊下で流し手が後ろの障子を破らぬようセーブしながら、米山甚句・相川音頭・お山囃子を踊った後、躍進中の高校生二人の津軽曲弾きに拍手喝采であつた。

その後、御住職の法話を楽しみにしていたが結局会員だけで俗世の話題に終始。

さて時分時となり御信徒手作りのお齋を頂く。精進料理は阿弥陀様のように口に腹にやさしく残らず頂きました。

合 掌

2025 夏 ゆづみDE盆踊り

田口 敏男

夏も終わりに近づく八月二三日夕海で開催されたイベントに三味線で参加させて頂きました。海に沈みゆく夕日を浴び、オレンジ色に染まった姿で踊る参加者たちが、芝生に映える影絵のようで、なんとも美しく、印象的でした。今年の夏も是非、夕海で！

柏崎文化祭に参加して

藤井 洋平



二〇二五年四月二七日、「二〇二五市民のための柏崎文化祭」にて、アルフォーレで開催された公演に柏崎民謡保存会の一員として出演し、「相川おけさ」「米山甚句」を演奏しました。民謡の奥深さと仲間の支えを改めて感じる貴重な舞台となりました。

「ハコニワ」に出演して

飯田 奏音

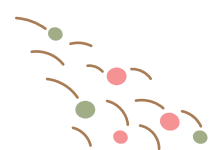
「ハコニワ」の出演では、これまで練習を重ねてきた成果を十分に発揮し、落ち着いて演奏することができました。また、盆踊りでは、ご来場された多くの方々が私たちの演奏

に合わせて踊ってくださり、喜んでいただけたことを大変嬉しく思いました。今後とも指導よろしくお願いいたします。

「ハコニワ」に出演して

永井 寛生

私は七月に「ハコニワ」で三味線を演奏しました。「柏崎おけさ」などの柏崎の民謡や、津軽甚句などの色々な曲を演奏しました。子どもや若い人など沢山の人がいました。この演奏会がきっかけで民謡というジャンルを知ってもらえたら大変嬉しいです。



穂波会の出演に参加して

江口かつこ

満員のお客様。温かな拍手。優しい空気。私には、踊り切った安堵感より、自分の下手さを再確認する、ほろ苦い舞台となりました。

大先輩と一緒に踊る、とてつもないプレッシャー。下手は下手で仕方ない。基本通り・丁寧に踊る、と心に決め、臨んだあの舞台。踊りの神様は、そんなに甘くはなかった……。あの時の、あの舞台から見た光景は、ほろ苦い思い出とともに、忘れることはないと思う。貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございます。

新年に当たり

後援会相談役 堀沢 誠

令和八年は、柏崎民謡保存会七五周年記念公演も計画されているようです。長い間、会が存続することは会員が仲良く絶えることなく、入会者がある事だと思えます。

次に練習が必要、さらに成果を発表させて頂く事が出来る幸せがある事です。

民謡がよくわからない方々が入会してくるので、その方々に上手く指導していくことが大切です。若い方々が民謡に興味をもって来るように、

指導するのも会員みんなの協力で、柏崎にある地元民謡の唄に踊りに取り組んで頂きたいと願っております。

民謡保存会に入会して

中村 まい

民謡保存会に入会して、長く受け継いでこられた芸能の守り手の皆さんとご一緒できて光栄です。芸能が身体に染み込むまで、長い長い時間をかけてこられたのだと、分かりました。自分もその一員だと言えるようになるまで時間がかかりそうですが、素敵な先輩たちを見習いながら励みたいと思います。



編集後記

保存会会報「和と輪」の第一回の発行は平成十一年二月、京都太秦（うづまさ）東映撮影所の水戸黄門に保存会が出演した事が記載されてありました。今回で二十八年が経ち、二十八回目の発行となりました。まさしく、「継続は力なり」ですね。十一月には創立七十五周年記念公演が開催されます。

これからも「和と輪」の発行へのご協力をお願いします。

（広報担当 K・H）